

第21回福岡県子育て保育のつどい

2011年12月11日(日)

記念講演 13:30～15:30

福岡県教育会館 (福岡市東区箱崎4丁目12-22)

主催：福岡県保育センター
子育て保育のつどい実行委員会

後援：福岡県・福岡県教育委員会
福岡市・福岡市教育委員会

参加費：1,500円(一般)、1,000円(学生)
1,000円(保育センター個人会員)

託児：1人500円(1歳以上・申込が必要)
保育の予約は必ず行って下さい。
先着順(40名程度) ※詳細はお問い合わせ下さい

- ◆会場へは公共交通機関をご利用ください。
- ◆駐車は箱崎宮駐車場を利用。

☆問い合わせ先：福岡県保育センター
福岡市中央区大名1-10-25 第二上村ビル506
TEL 092-761-5234 FAX 092-781-1995

URL: <http://www.k2.dion.ne.jp/~hoiku/>



記念講演

「体験から生まれる言葉が生きる力に」

講師：竹島由美子 さん

(西日本短期大学附属高等学校 国語教師・演劇部顧問)

【講師プロフィール】

香川県生まれ。
國學院大學文学部卒。
小・中学校の講師を経て西日本短期大学附属高校に勤務。
国語科、演劇部顧問として活躍、現在は非常勤講師。
2002年「演劇を通して、授業を通して自己改革を目指した生徒の軌跡」で第51回読売教育児童生徒部門優秀賞受賞。
2004年「同世代が影響し合うとき」で第53回読売教育児童生徒部門優秀賞受賞。
2010年「野球部員、演劇の舞台に立つ！甲子園、夢のその先にあるものを追いかけて」を出版。来春、青年劇場での舞台化が決定している。
教え子に、新庄剛志(元プロ野球選手)、田中麗奈(女優)がいる。
現在の野球部監督西村慎太郎氏も教え子。野球部は去年も甲子園に出場。

高校生と共に生活していると、青年とはなんと美しい存在だろうと改めて感じさせられることが多くあります。そしてそうした美しさを見せてくれる高校生は、必ずと言っていいほど、過去のどこかで彼らに真剣に向き合ってくれた大人に出会っています。幼い頃、あるいは小・中学生の頃、どんなに困難な状況であれ精一杯こだわり続けてくれた大人を知っているということは、その後の彼らの人生に大きな影響を与えてくれます。特に幼い頃、温かな大人に包まれたという記憶は、成長期の青年を育ててくれるように思います。その時潜在的に刷り込まれた“大人っていいものだな”という記憶が、その後の彼らにあんな大人になりたいという気持ちを持たせ、やがて成長したいというエネルギーを生み出してくれるからです。ただし真実をきちんと見抜く子ども達は、いい加減なまやかしの優しさをその心に残すことはありません。たとえどんなに厳しくしても本物の愛情こそがその後の彼らを育ててくれるようです。

2007年開催 第38回九州保育団体合同研究集会 市民講座
「異質だからこそ発見がある！」—甲子園の先にあるものを追いかけて— レジメより抜粋